

マルチプラットフォームファームウェアを使用したCisco 6800、7800、または8800シリーズIP Phoneでのボイスメールの設定

目的

この記事では、Cisco 6800、7800、または8800シリーズIPマルチプラットフォーム電話機に設定されたボイスメールについて説明します。

該当するデバイス | ソフトウェアバージョン

- 6800シリーズIP Phoneマルチプラットフォームファームウェア | 11.2.3 ([最新版をダウンロード](#))
- 7800シリーズIP Phoneマルチプラットフォームファームウェア | 11.2.3 ([最新版をダウンロード](#))
- 8800シリーズIP Phoneマルチプラットフォームファームウェア | 11.2.3 ([最新版をダウンロード](#))

概要

ボイスメールは、IPテレフォニーの最も一般的な機能の1つです。Cisco IP Phone 6800、7800、または8800シリーズマルチプラットフォームフォンには、ボイスメールストレージ機能があります。

この記事で参照されている電話機は、特定のコールコントローラを使用するエンタープライズ電話機ではありません。2種類の電話機を比較する場合は、「[比較とコントラスト](#)」を参照してください。[Cisco IP MPP Phone](#)および[Cisco Unified IP Phone](#)。

マルチプラットフォームファームウェアを搭載した電話機

MPP電話機には、インターネットテレフォニーサービスプロバイダー(ITSP)またはIP構内交換機(PBX)コール制御サーバからのサービスが必要です。WebEx Calling、Ring Central、およびVerizonはITSPの例です。Cisco MPP電話機で動作するIP PBXサービスの例には、Asterisk、Centile、およびMetaswitchプラットフォームがあります。

これらのITSPおよびIP PBXコールコントローラは、コールパークやボイスメールなどのサービスを提供するために、電話とコールコントローラが相互に通信する別のシステムです。MPP電話機は特定のコールコントローラを使用しないため、アクセスと手順は異なります。

各コールコントローラは異なる手順を実行できるため、動作の仕組みを正確に説明することはできません。特定のボイスメールコマンドに関する情報とヘルプについては、選択したプロバイダーのヘルプサイトを参照してください。管理者がいる場合は、詳細と可能なトレーニングについて管理者に問い合わせることができます。

パーソナルボイスメールの設定

ネットワークをセットアップしたユーザは、一般的なボイスメールメッセージ、内線番号、およびパスワードを設定している可能性が高いです。ボイスメールボックスに初めてアクセスすると

きに、パーソナライズされたメッセージを作成できます。この例では、IP PBXにFreePBXを使用しました。FreePBXではアスタリスクが使用されます。

手順 1

ハンドセットを取り上げるか、スピーカーアイコンを押します。

手順 2

キーの組み合わせを入力して、ボイスメールにアクセスします。一般的なオプションは*98または*99です。

手順 3

内線番号のプロンプトが表示されます。これは、おそらく電話機の内線番号と同じ番号です。場合によっては、別の拡張子が付くことがあります。音声管理者またはサービスプロバイダーに確認してください。

手順 4

パスワードのプロンプトが表示されます。これは、電話機の内線番号またはサービスプロバイダーから提供された番号です。

手順 5

名前を入力するプロンプトが表示され、シャープ(#)キーをクリックします。電話にはっきりと話さない。

手順 6

名前を保存するには1を選択し、名前を聞くには2を、録音し直すには3を選択できます。

ステップ7

グリーティングを録音するプロンプトが表示され、シャープ(#)キーをクリックします。

手順 8

グリーティングを保存する場合は1、グリーティングを再生する場合は2、録音を再行する場合は3、を選択できます。

手順 9

ビジーメッセージを録音するプロンプトが表示されます。

手順 10

1を選択してビジーメッセージを保存するか、2を選択してビジーメッセージを再生するか、3を選択して再録音することができます。

次回ボイスメールボックスにアクセスするときに、パスワードを変更するオプションがあります。

ボイスメールボックス設定の変更

手順 1

電話機でボイスメールを入力するには、ハンドセットを取り上げるか、スピーカーアイコンを押します。

手順 2

ダイヤルトーンが聞こえます。キーの組み合わせを入力して、ボイスメールにアクセスします。一般的なオプションは*98または*99です。

手順 3

メールボックス内に移動すると、プロンプトのオプションに、メールボックスの設定を変更するために押す番号が表示されます。

結論

これで、Cisco MPP電話機にボイスメールを設定できました。

ボイスメールが設定されたので、ボイスメールへのアクセス方法を学習できます。次のステップに進む準備ができたなら、[ここをクリックしてください](#)。